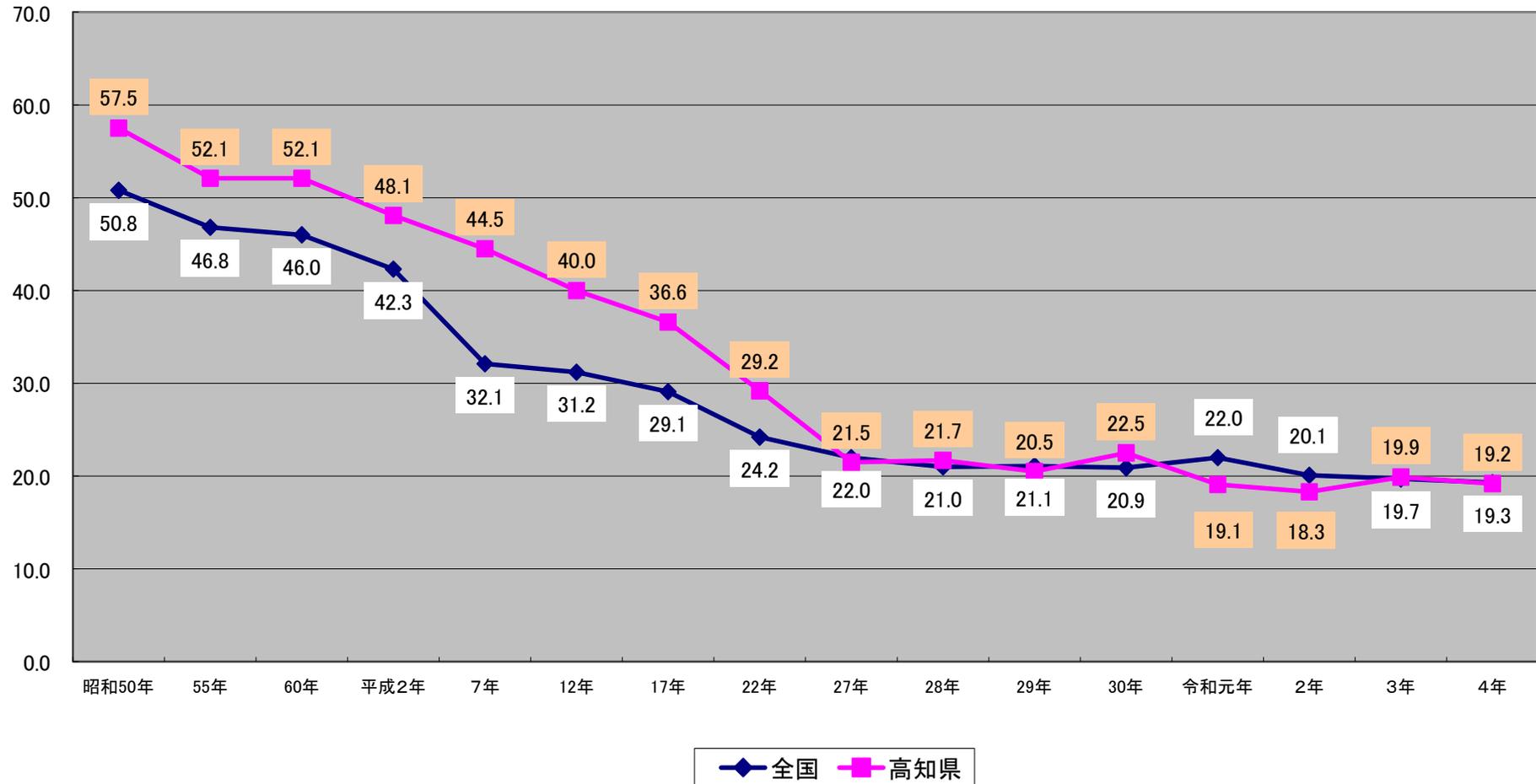


## 死産率の推移

(出産千対) 死産率は、全国・本県ともに減少している。本県の死産率は、近年全国とほぼ同じ水準となっている。

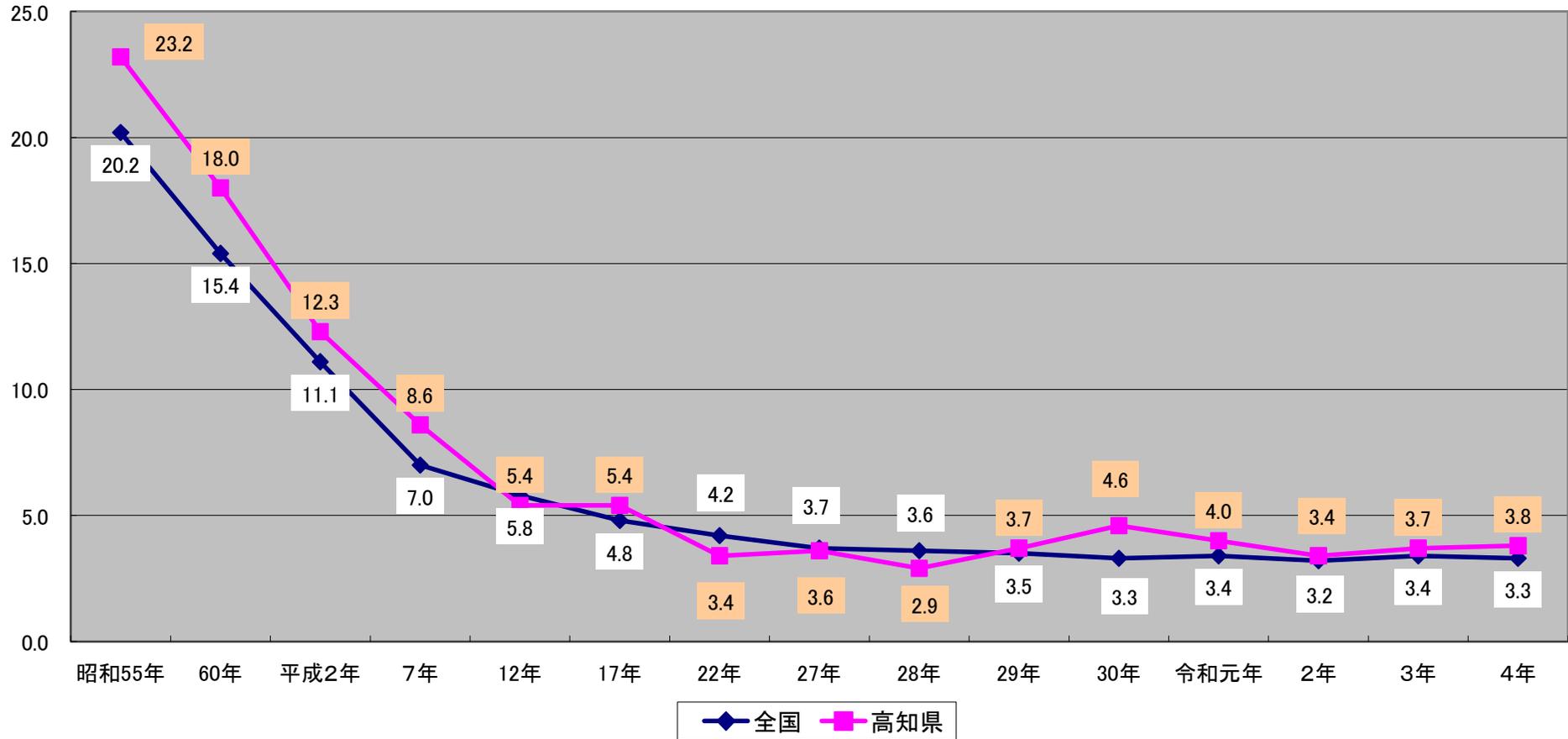


資料：厚生労働省「人口動態調査」による。

## 周産期死亡率の推移

周産期死亡率は、全国・本県ともに近年は横ばいとなっている。本県の周産期死亡率は平成29年度から全国をやや上回っている。

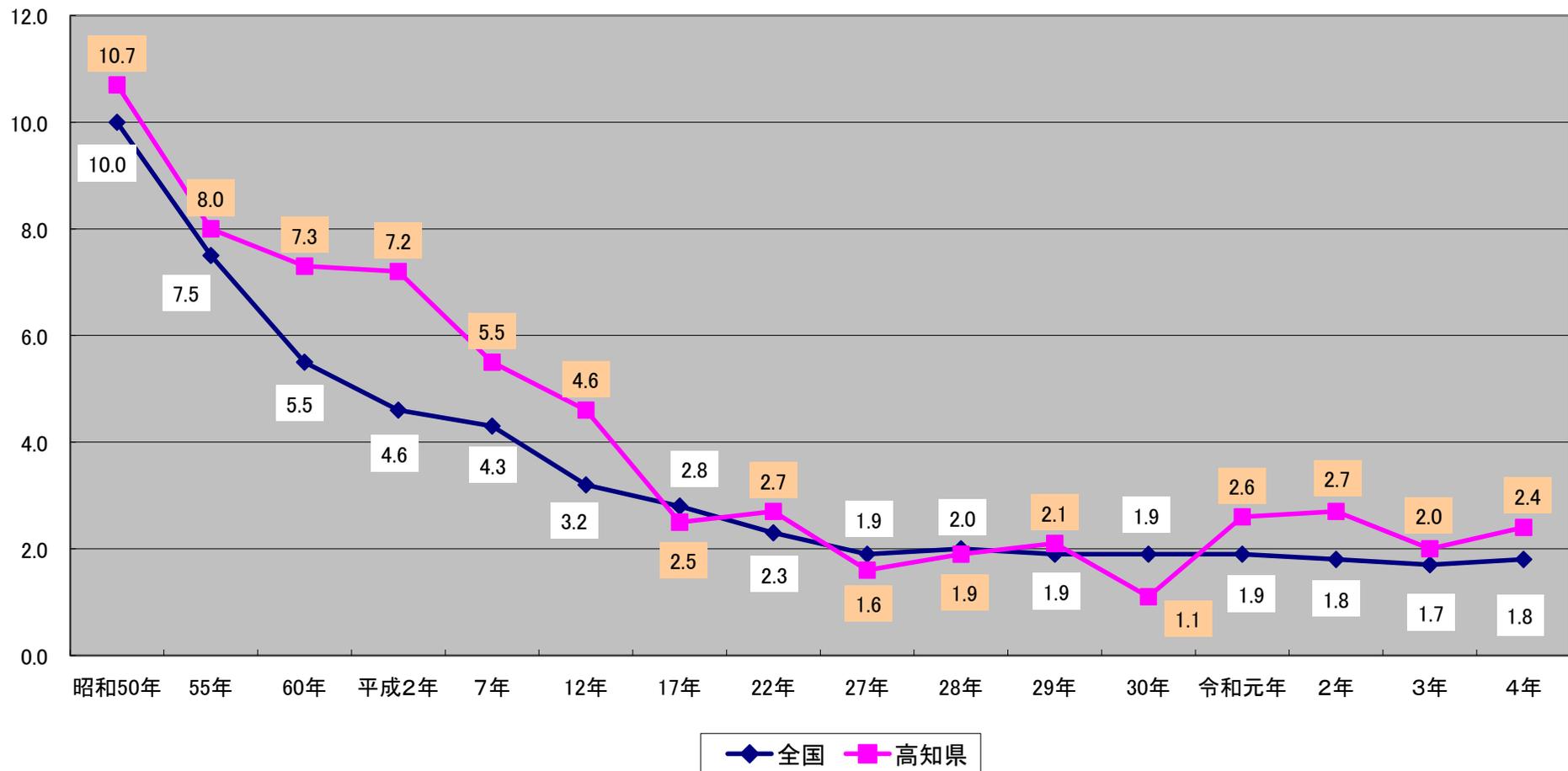
(出生千対)



資料：厚生労働省「人口動態調査」による。周産期死亡率は、妊娠満22週以後の死産率と早期新生児(生後1週未満)の死亡率を合わせたもの。

## 乳児死亡率の推移

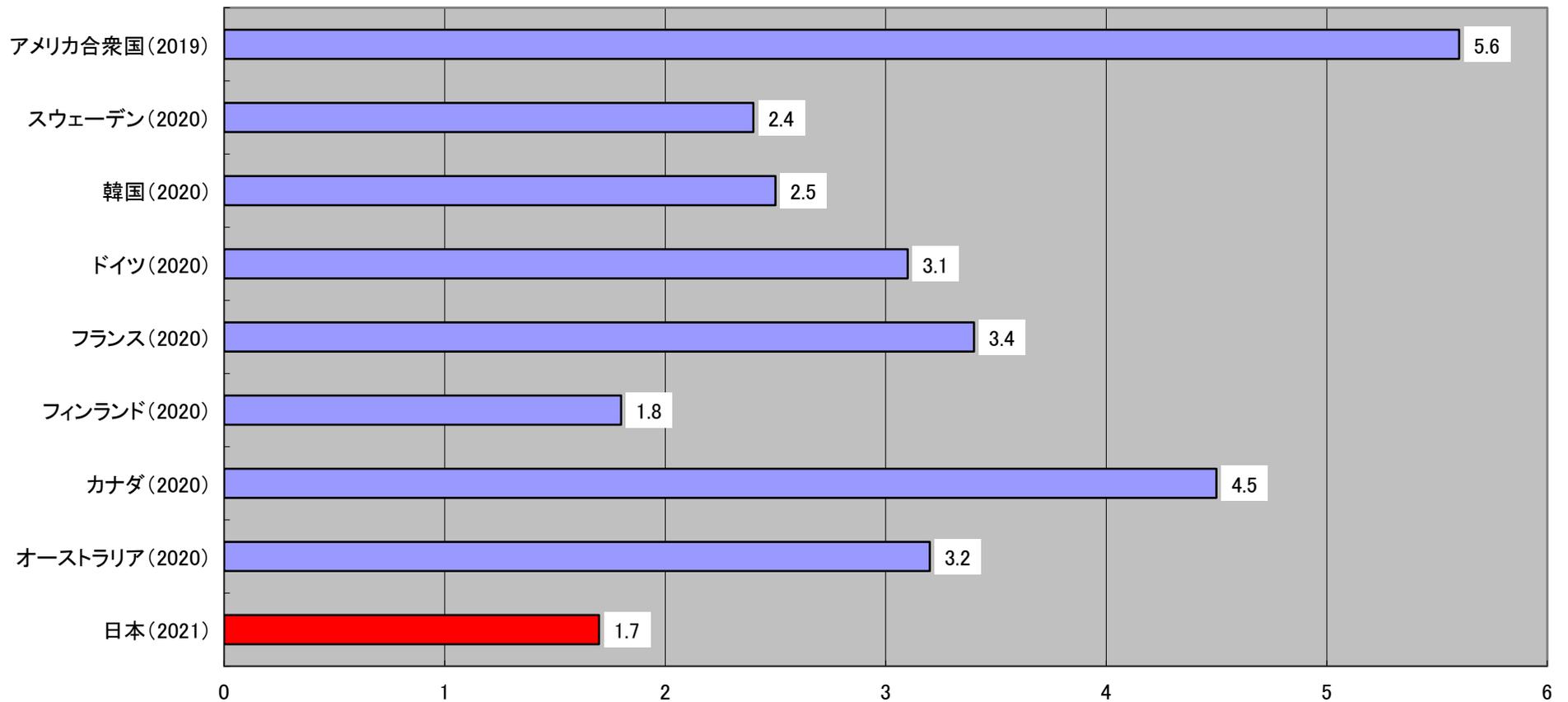
(出生千対) 全国・本県ともに乳児死亡率は減少傾向にあり、平成30年は全国水準を大きく下回ったが、令和元年から増加に転じ、全国を上回った。



厚生労働省「人口動態調査」による。

## 主要国の乳児死亡率

我が国の乳児死亡率は1.7%と、主要国の中でも低い水準にある。



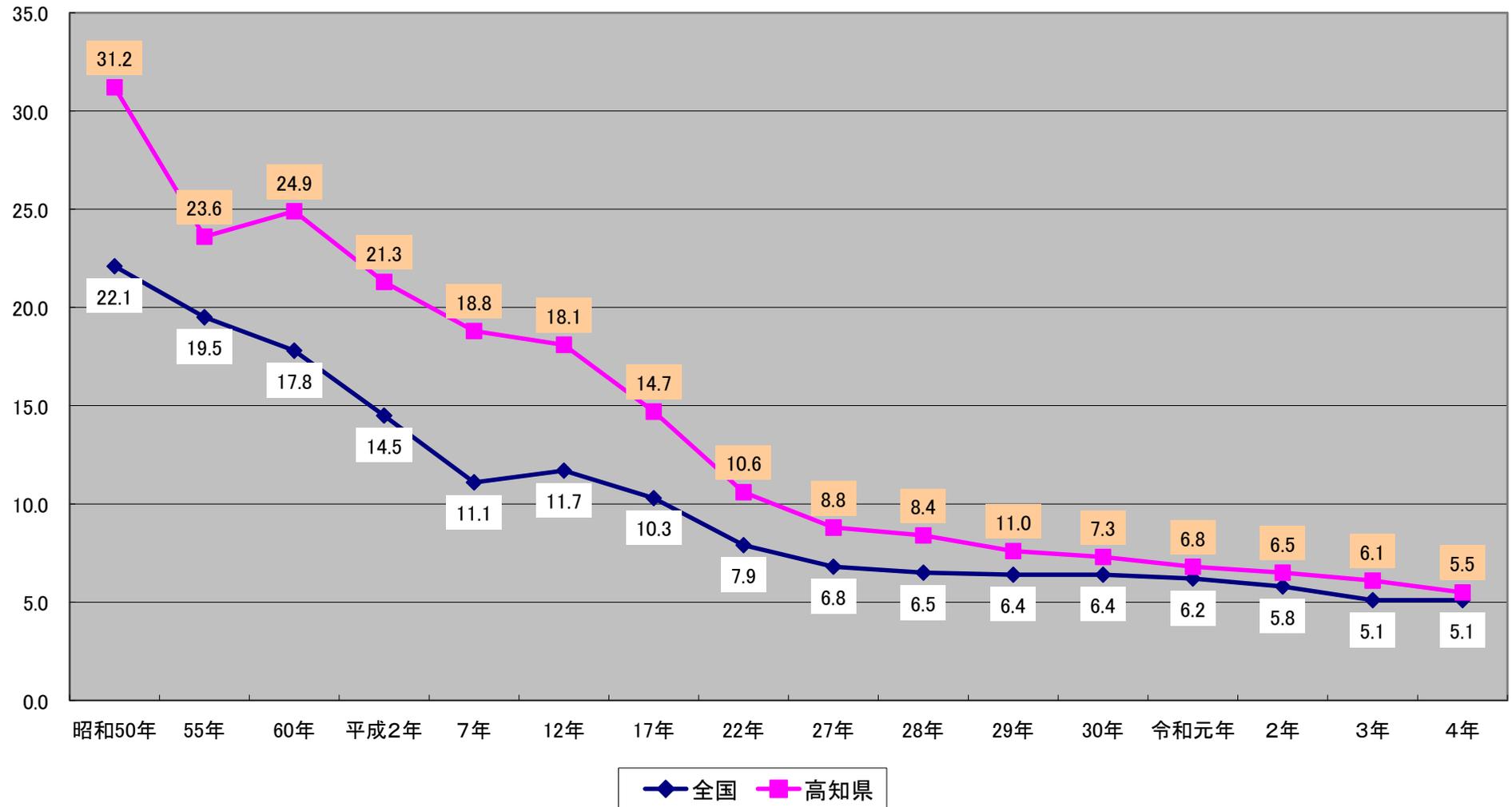
(出生千対)

資料:「国立社会保障・人口問題研究所」(元データはUN, Population and Vital Statistics Report, Series A (オンライン版)による。)

15～49歳  
女子人口  
(千対)

## 人工妊娠中絶実施率の推移

人工妊娠中絶実施率は、全国・本県ともに減少傾向にある。本県は全国より高い率ではあるものの、近年はほぼ全国に近い率で推移している。

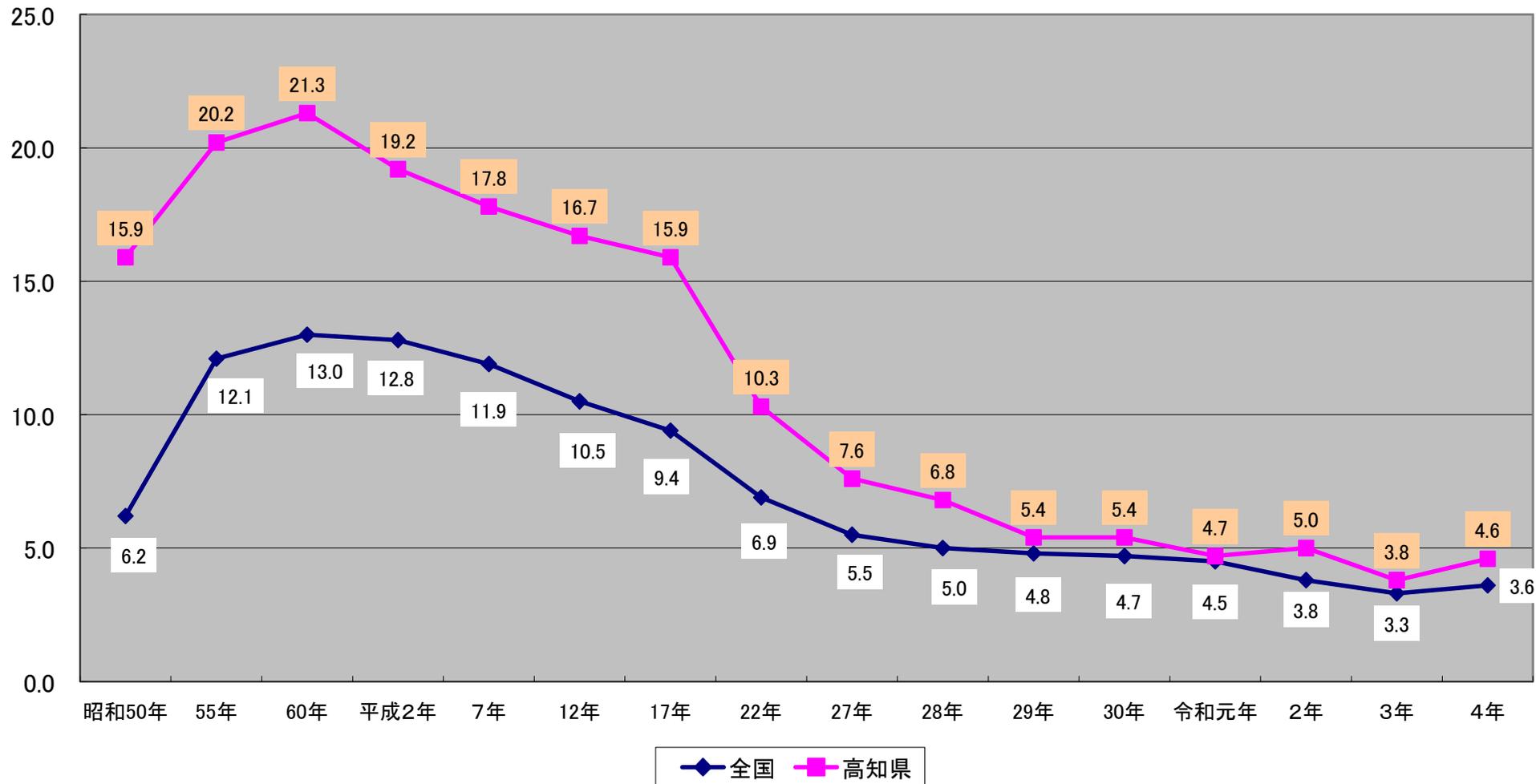


資料：厚生労働省「衛生行政報告例」による。15歳～49歳の女子を対象として算出。

15～19歳  
女子人口  
(千対)

## 10代の人工妊娠中絶実施率の推移

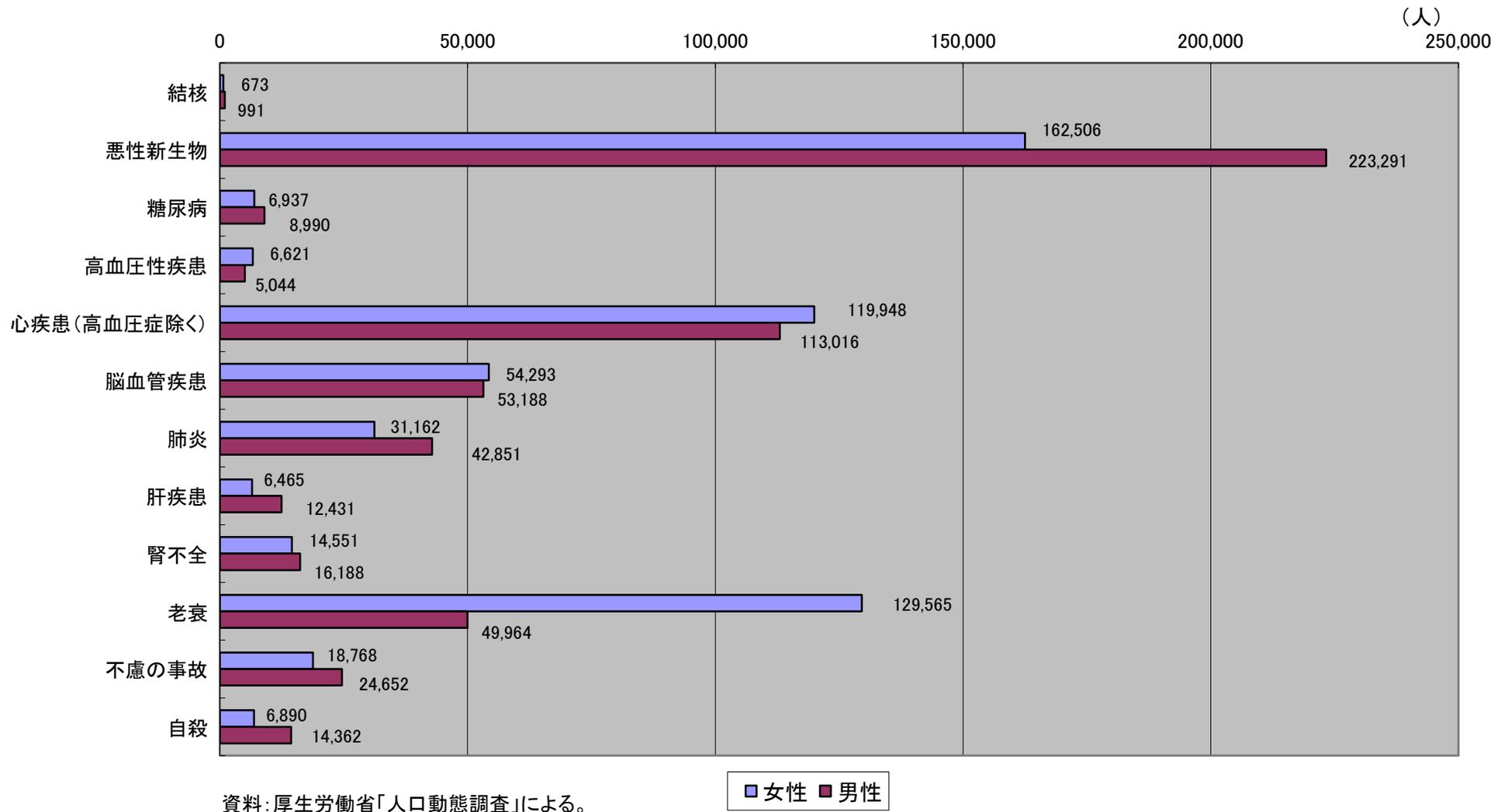
10代の人工妊娠中絶実施率は、全国・本県ともに減少傾向にある。本県の10代の人工妊娠中絶率は近年減少しているが、全国を上回っている。



資料：厚生労働省「衛生行政報告例」による。20歳未満(15歳未満含む)の人工妊娠中絶件数を15～19歳の女子人口で除して得た割合。

## 主要死因別死亡者数（全国：令和4年）

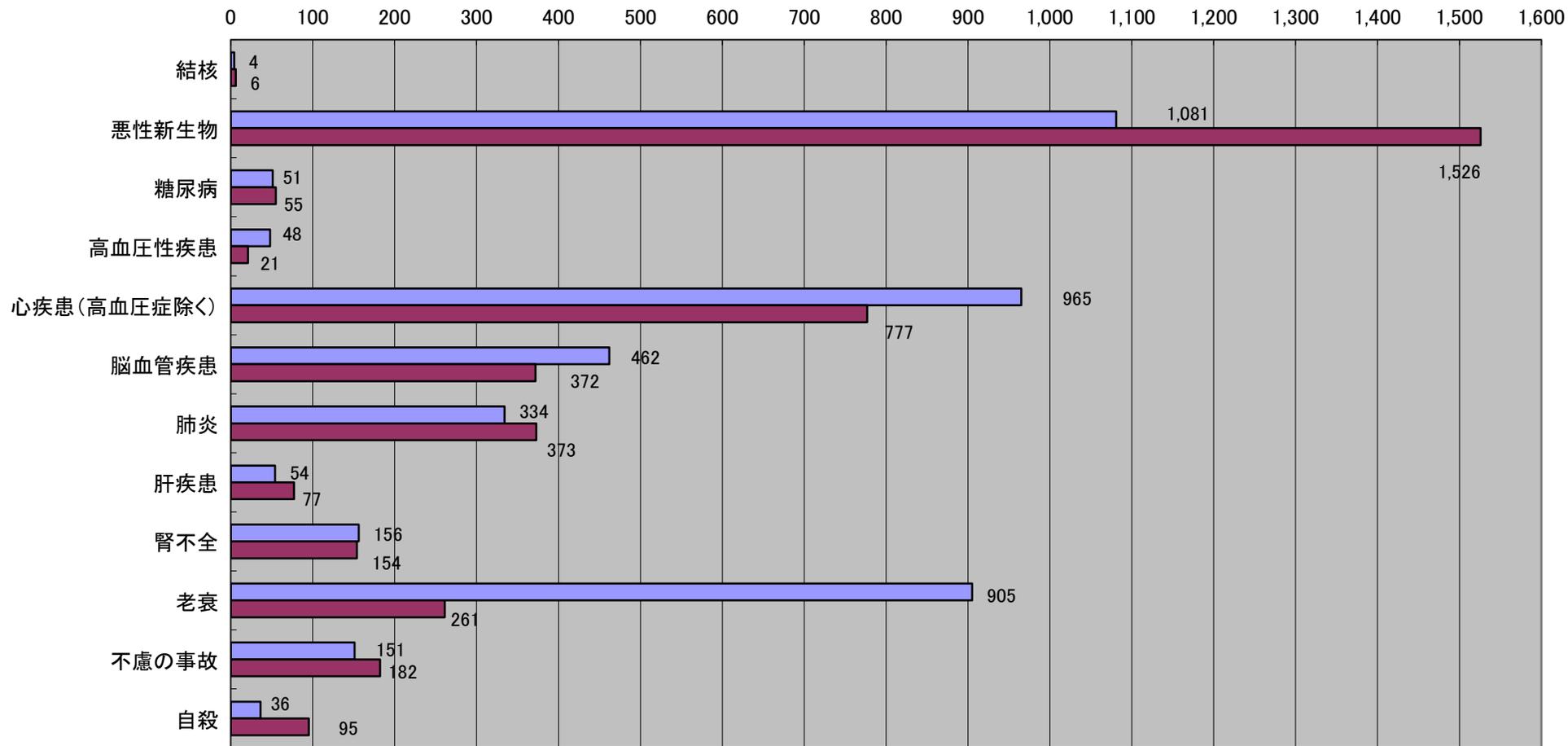
男女ともに悪性新生物を死因とする死亡者数が最も多く、次いで心疾患が多い。また、自殺者数は、男性が女性の2倍以上にのぼり、老衰は女性が男性の3倍近くになっている。



## 主要死因別死亡者数（高知県：令和4年）

男女ともに悪性新生物を死因とする死亡者数が最も多く、次いで心疾患となっている。男性は、その後に肺炎、脳血管疾患と続く。また、老衰は女性が男性の3倍以上と多くなっている一方、自殺者は男性が女性の2倍以上にのぼる。

(人)

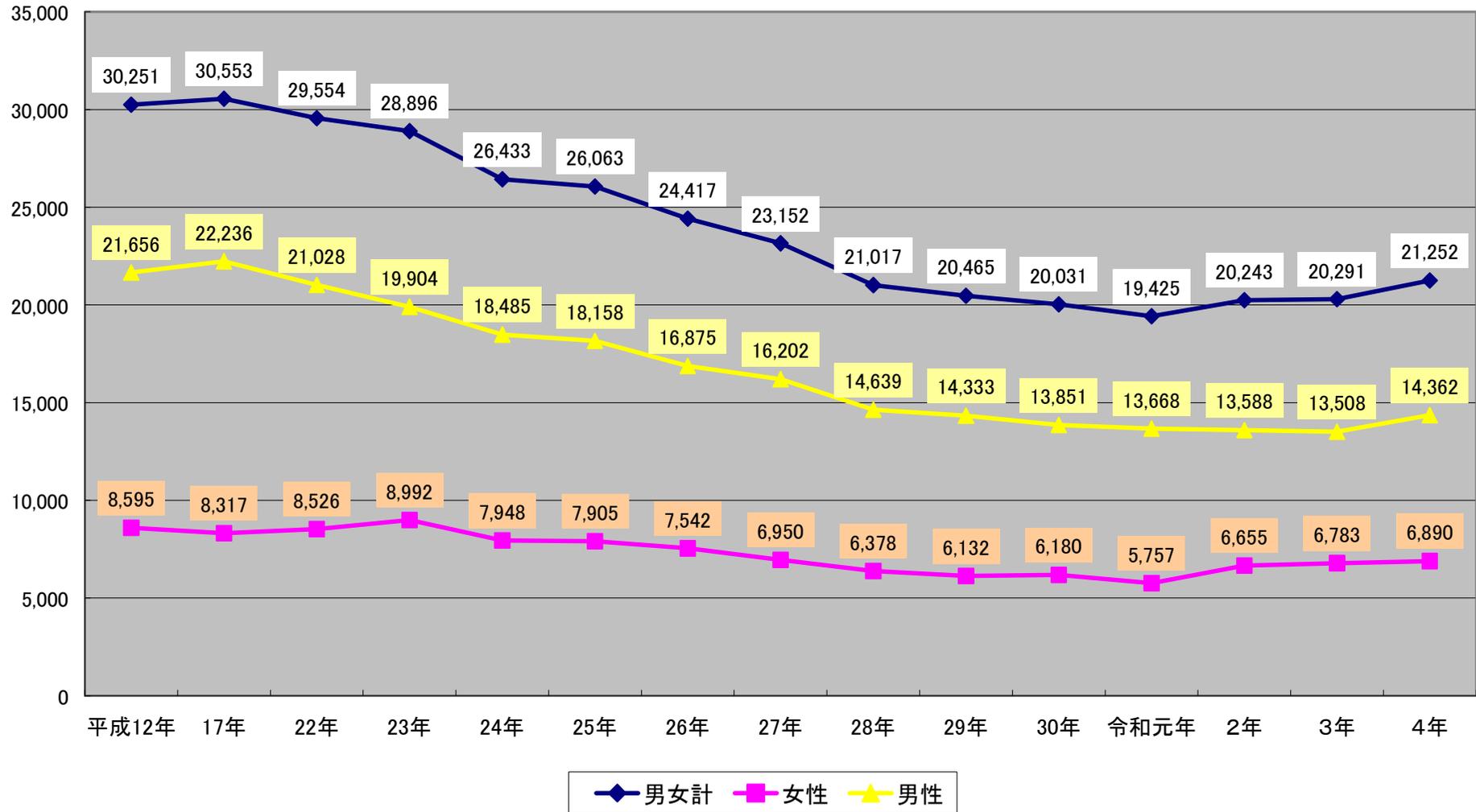


資料：厚生労働省「人口動態調査」による。

□女性 ■男性

## 自殺者数の推移(全国)

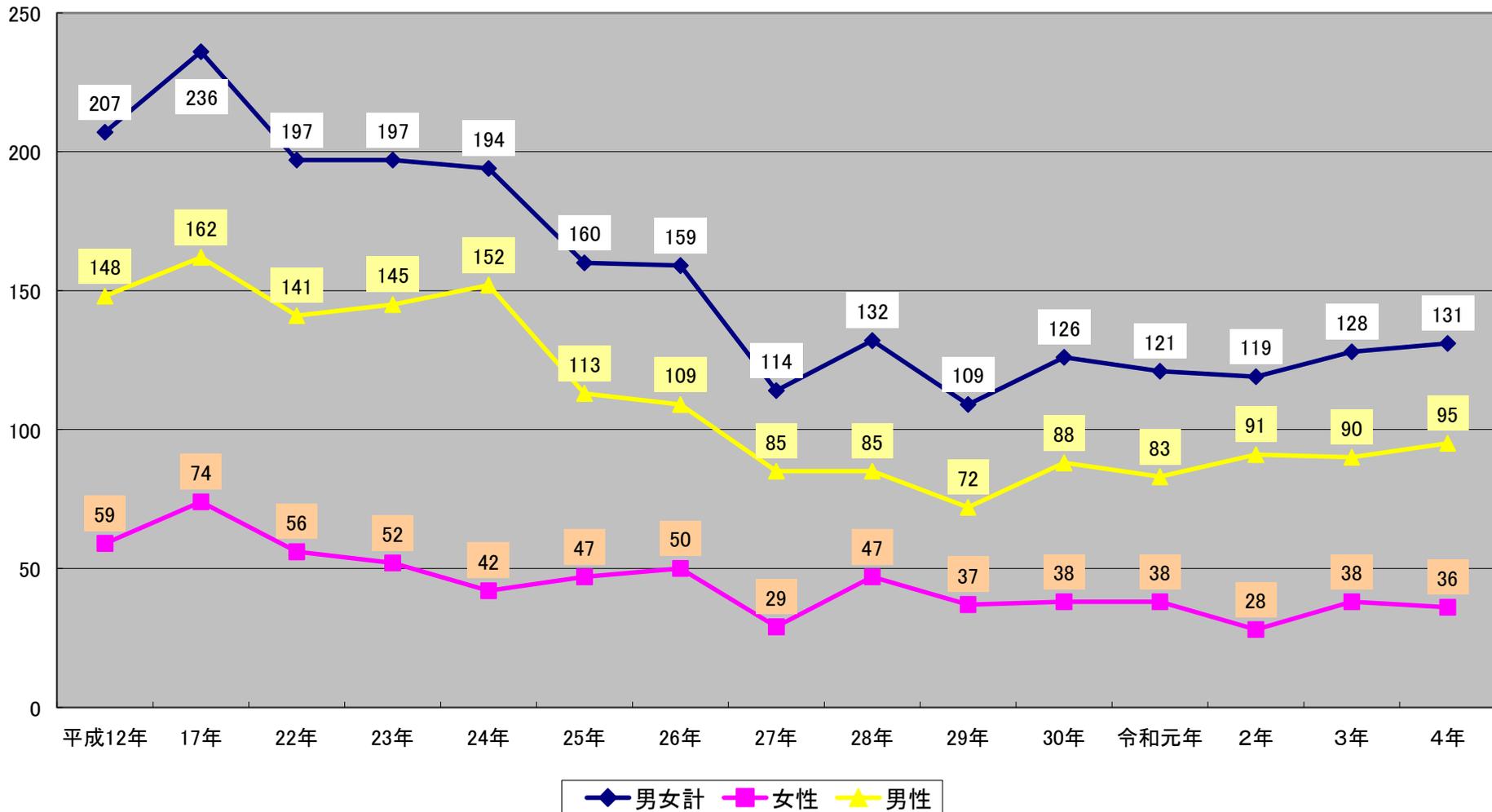
(人) 全国における自殺者数は平成17年以降減少していたが、令和2年以降年間2万人を上回っている。また、男性の自殺者数は女性の2倍以上にのぼる。



資料:厚生労働省「人口動態調査」による。

## 自殺者数の推移(高知県)

(人) 本県における自殺者数は減少傾向にあったが、令和2年以降増加傾向にあり、男性の自殺者は女性の2倍以上にのぼる。

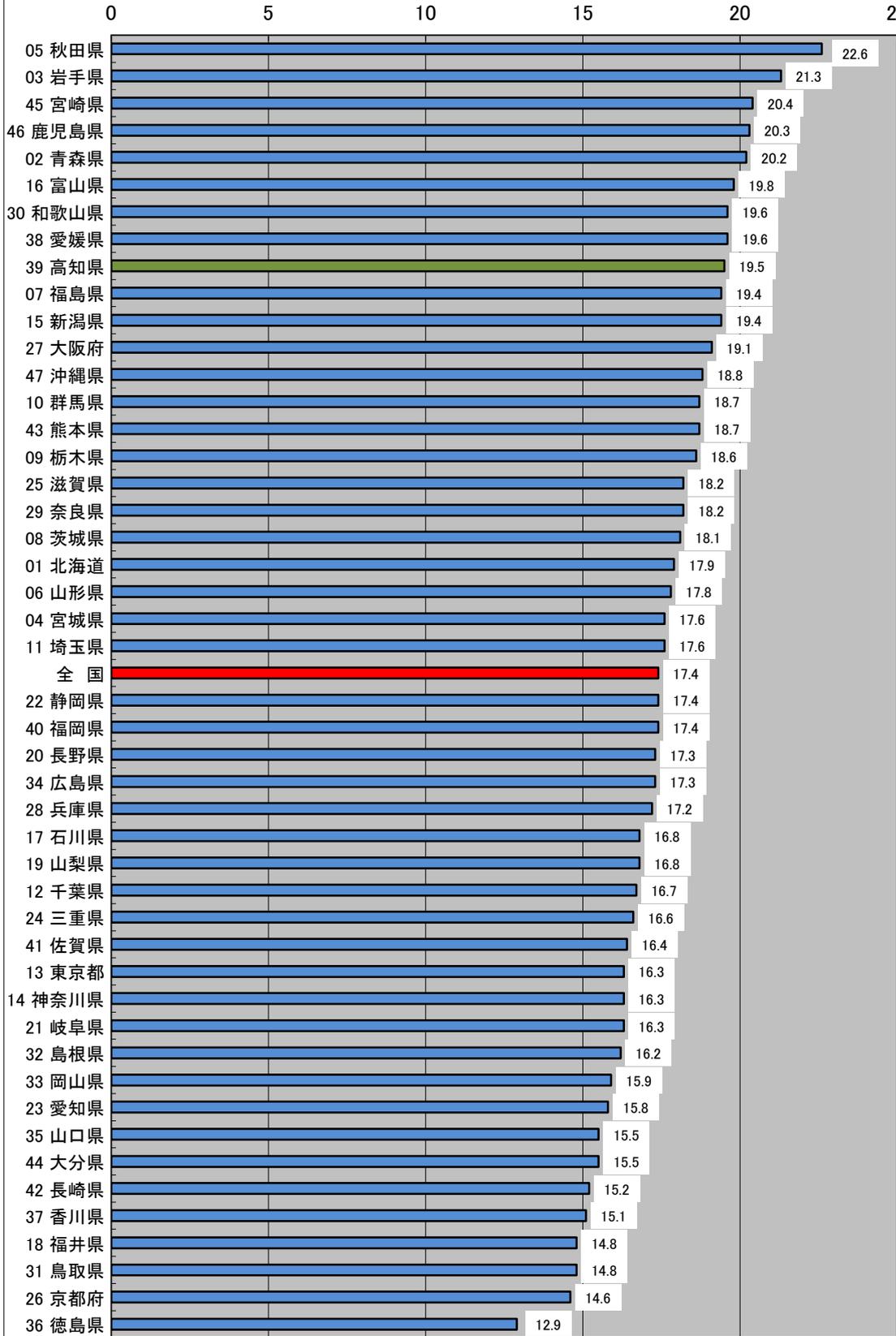


資料:厚生労働省「人口動態調査」による。

## 都道府県別自殺率(令和4年)

本県の自殺率は19.5で、全国で9番目に高くなっている。

10万対)



資料:厚生労働省「人口動態調査」による。